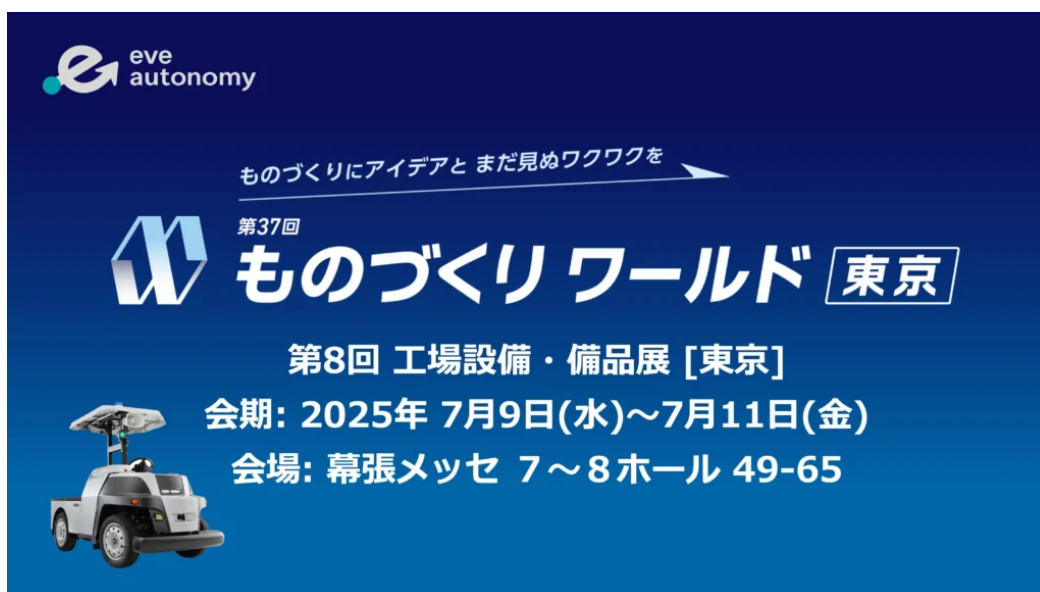


報道関係各位

2025 年 8 月 13 日
株式会社 eve autonomy

【eve autonomy イベントレポート】
テーマは「人・技術・設備を繋ぐ」、
屋外と屋内、用途に応じた 2 つの無人搬送ソリューションを一挙展示



株式会社 eve autonomy は、2025 年 7 月 9 日（水）～11 日（金）の 3 日間、幕張メッセで開催された「第 37 回 ものづくりワールド 東京／第 8 回 工場設備・備品展」において、株式会社山善（以下「山善」）と共同でブースを出展いたしました。会期中は多くのお客様にお越しいただき、心より御礼申し上げます。

第37回 ものづくり ワールド [東京] (2025)

来場者数



2025年7月14日（月） RX Japan 株式会社

7/9(水)	7/10(木)	7/11(金)	3日間合計
14,808名	17,648名	23,293名	55,749名

※ 1 人の来場者が、同日に複数回来場した場合は 1 名と集計

※ 1 人の来場者が、複数日来場した場合は、その日数分を集計（例：1 人が 2 日間来場した場合は、2 名と集計）

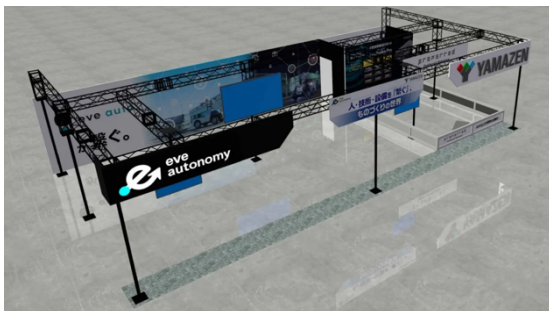
※ 上記には、出展者・報道関係者は含みません

引用：<https://www.manufacturing-world.jp/tokyo/ja-jp/previous/visitorcount.html>

テーマは「人・技術・設備を繋ぐ」、搬送自動化の最前線を提案

本出展では、屋外対応無人搬送サービス「eve auto®」と、小型自律搬送ロボット「カチャカ プロ」の2機種を展示し、「人・技術・設備を繋ぐ、ものづくりの世界」をテーマに、多様化する製造現場・物流現場の自動化ニーズに応えるソリューションをご紹介しました。本レポートでは、出展ブースの見どころと反響をレポートいたします。

イベント概要と出展ブース



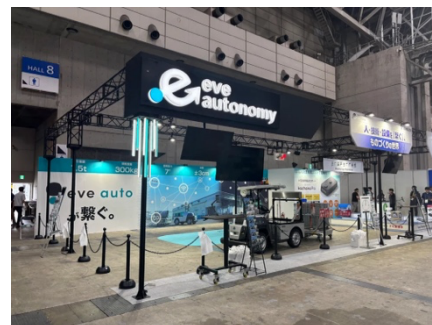
第37回 ものづくりワールド 東京

2025年7月9日（水）～11日（金）10時～17時

幕張メッセ 7～8 ホール（ブース：49-65）

主催：RX Japan 株式会社

入場料：無料（登録制）



出展の見どころと反響

1. 屋外と屋内、用途に応じた2つの無人搬送ソリューションを一挙展示



初日から多くの来場者で賑わったブース前通り



車両の説明をするセールス&マーケティング部長

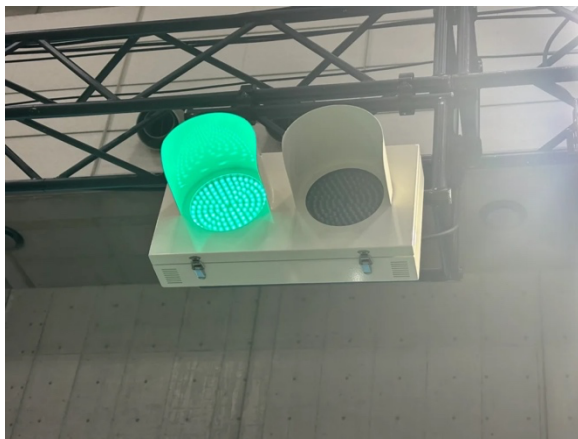
ブースの中心では、屋外対応無人搬送サービス「eve auto®」と、屋内利用に特化した小型自律搬送ロボット「カチャカ プロ」（提供：山善）の2機種を展示。異なる搬送環境やニーズに応じた“棲み分け”と、“使い分け”を明確に提示することで、多くの来場者に具体的な導入イメージを持っていただくことができました。

「eve auto®」は、屋外の建屋間搬送を得意とする AMR の分野で、段差・坂道・雨天といった屋外特有の課題にも対応可能。既に全国約 50 拠点・80 台以上の導入実績があるサービスとして、高い信頼性と導入のしやすさが注目を集めました。

一方、「カチャカプロ」は、屋内で活躍する小型 AGV で、専用の棚とドッキングし、庫内にて物品を搬送する軽量搬送（牽引能力最大 30kg）が特徴。最小 55cm 幅での狭路走行ができ、簡単操作で価格もリーズナブルなので、手軽に導入できます。

これら異なる特性をもつ2種類のロボットを同時に展示したことで、「屋外も屋内も、用途に応じて最適なソリューションを組み合わせる導入できる」という提案の幅広さが、お客様に高く評価されました。

2.自動運転が“みえる”マップと設備連携の展示



車両と信号機の設備連携を展示



前回より訴求力を高めたマップの展示

本展示では、実際のブース図面をもとに作成した 3D マップを活用し、自動運転の仕組みや運用の流れを可視化。走行ルートや発着点だけでなく、実際の導入現場で使用される FMS コンソール画面を組み合わせることで、より具体的で現実的な導入イメージを来場者に提供しました。

さらに、ブース内には信号機を設置し、車両との設備連携を実演。現場に存在する一般的な設備とも連携可能であることを示すことで、日常の運用への取り入れやすさや、連携による走行の安全性向上を具体的に伝える展示となりました。

YouTube「TechLIVE by ITmedia」で紹介されました！

<https://www.youtube.com/watch?v=RnfGzY9xiMY>



毎回恒例！ブース内プレゼン

今回のデモンストレーションでは、自動運転車両と信号機との連携にもご注目ください！

登壇資料にも使用されている eve auto サービスに関する資料 DL は [<こちら>](#)

<https://youtu.be/jIEcaph1qwU>



<さいごに…> 展示会を通じて見えた可能性と課題

今回の「ものづくりワールド 2025」への出展を通じて、eve auto が持つ“屋外搬送の無人化”のみでなく、拡充性の高さやその独自性に多くの関心が集まりました。一方で、屋外搬送の自動化自体がまだほとんどの業界で「手を付けていない領域」であることから、「どのように安全性を検証していけばよいか分からない」「どのように成果を生み出せるかイメージがつきにくい」といった声も多数寄せられました。

eve autonomy は、こうした現場の声を受け止めながら、導入前シミュレーションや現地トライアルの提案など、実運用に向けた支援も強化してまいります。

自動搬送サービス「eve auto」：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されているEVカートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、**雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現**しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。現在、全国約 50 拠点・80 台以上が稼働しています。



自動運転 EV を活用した屋外対応の自動搬送ソリューション「eve auto®」

【主要スペック】

製品名	eve auto(イブ・オート) FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／ 積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッ テリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17％）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12％）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携 等

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy セールス & マーケティング部

TEL：0538-40-9170

Mail：mk@eveautonomy.com

Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県磐田市大瀬 868 番地 1

代表取締役 CEO：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は「今日から自動化」のスローガンのもと、工場や物流施設での屋外搬送業務の無人化を実現するサービス「eve auto®」を提供しています。私たちのビジョンは、すべての「働く」に彩りを加え、人々がより豊かで楽しく、喜びに満ちた人生を歩むことができる社会を実現することです。世界最先端の自動運転技術と、長年にわたり培われた品質・信頼を基盤に、世の中の「運ぶ」をアップデートし、新たなワークスタイルの創出に貢献してまいります。

「愛ある者であれ」。この価値観を胸に、私たちは人間らしいアプローチでチーム、事業パートナー、お客様と接し、持続可能で豊かな未来を共に築いていきます。